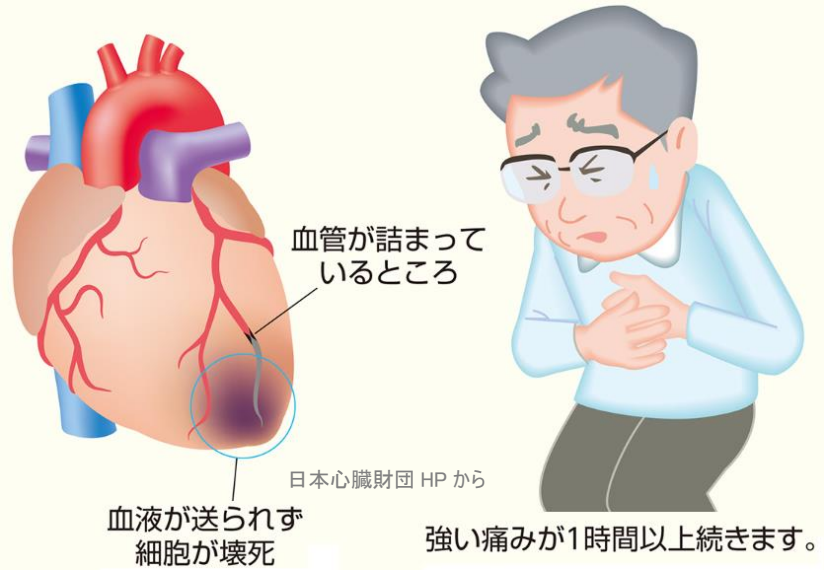
Volume 55
2023 Apr.-Jul.
Serial number 751

第10話

週刊 タバコの正体

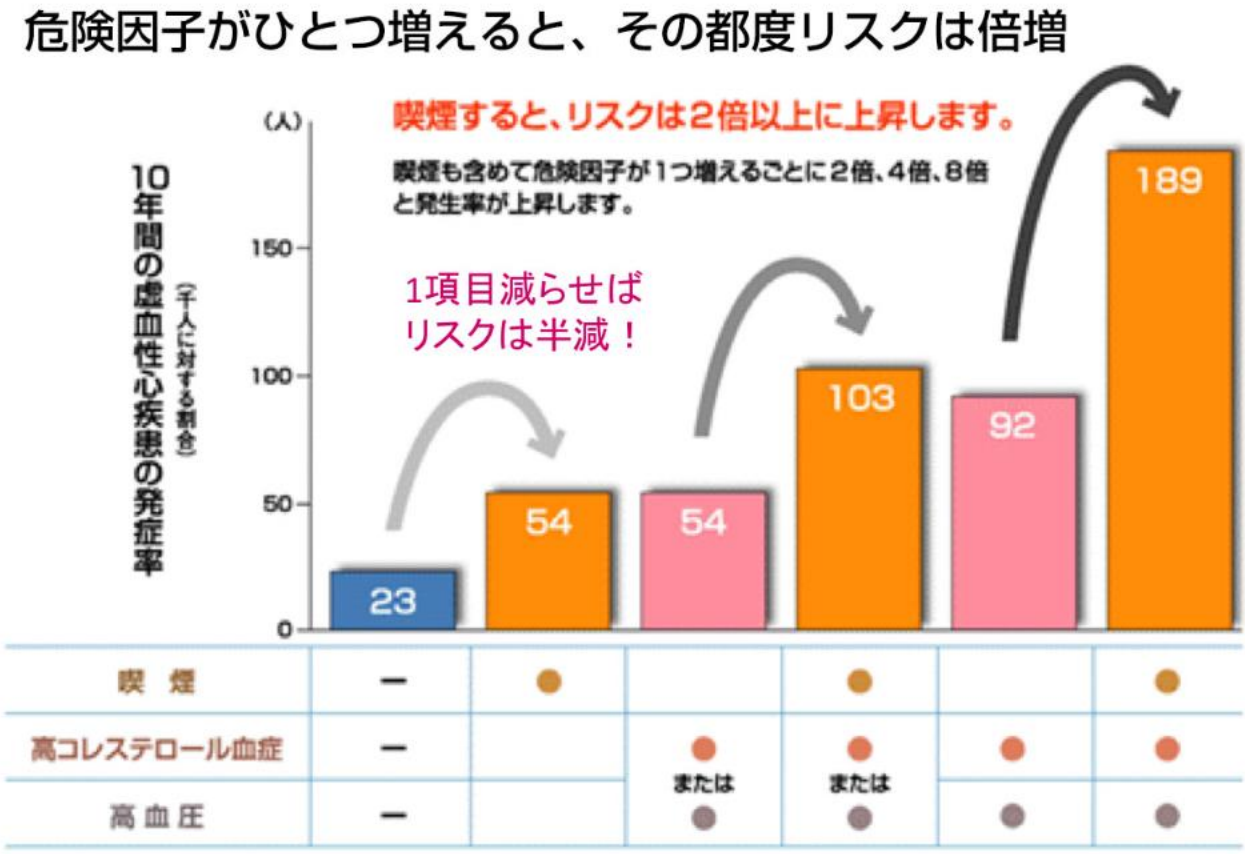
休むことなく動き続ける心臓の筋肉（心筋）に酸素や栄養を送っている血管が詰まると、心筋に十分な血液が行き渡らなくなり酸素不足（虚血）の状態となります。こうした疾患は「虚血性心疾患（きょけつせいしんしっかん）」と呼ばれ、代表的なものに狭心症（きょうしんしょう）や心筋梗塞（しんきんこうそく）があります。

以前にも、タバコを吸い続けると血管にダメージを与え詰まったり破れたりするリスクが高まる事を紹介しましたが、その具体的なデータが下のグラフに示されていて、喫煙を続けると10年後に虚血性心疾患を発症するリスクは2倍以上になるとされています。



全身に血液を送り出す心臓を動かす心筋に血液が届かず細胞が死んでしまうなんて、とても恐ろしく深刻ですよね。タバコを吸い続けるとその確率が高くなるのですから、吸い始めてはいけません。

産業デザイン科　奥田恭久



名古屋ハートセンターHP から

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005